

こんな人材が欲しい



宮城インテリアコーディネーター倶楽部
会長
関口 和美さん

いい

に「こんな部屋いいな」絵画コンテストを開催しています。会場には絵画を展示し、最優秀賞を受賞した作品は、東北文化学園専門学校の学生にも協力してもらい、実物大の部屋に再現します。子どもたちは自分の描いた絵が、実際の部屋になることにとても感動しています。

第1回の絵画コンテストに応募した当時、小学校六年生の女子児童は、受賞をきっかけにインテリアに興味を持ち、その後大学のデザイン科を経て、インテリア業界に就職しました。私たちの活動が小学生や高校・専門学校生のキャリアサポートとして役立っていることに誇りを感じています。

コーディネーターとは「調整役」 様々な人をつなぐ人間力が求められる

「インテリアコーディネーター」とはどういう仕事でしょうか。よく装飾の仕事と言われていますが、インテリアコーディネーターの仕事は、自分ひとりだけではできません。

壁紙・カーテン・照明器具選びといった住空間のレイアウトは、職人さんやメーカーさん、設計士さんなどいろんな職種の人とのコラボレーションできています。その調整役がインテリアコーディネーターです。「私がしたいのはデザインで、連絡調整ではない」という学生さんがいます。みなさんには華やかな部分だけではなく、こうした裏側も知ってほしいですね。

インテリアコーディネーターに必要なのは、「学びたい」という思いと向上心です。受け身でいたら、いつまでたっても成長はないでしょう。そして、この仕事は引退がありません。若い時は若者、年を取れば高齢者のための提案ができるというように、自分の年齢や経験に合った活躍の場があります。

家が100軒あれば100通りのインテリアがある。同じ間取りでも、お客様によって要望は全く違います。人の個性を引き出すことができるのも私たちの喜びですね。

人との関わりを通して、人間観察や人生勉強もできるのがインテリアコーディネーターの仕事なのです。



2002年から毎年開催している「こんな部屋いいな」絵画コンテスト。宮城県内の小学生にインテリアの素晴らしさを体感してもらっている



最優秀賞受賞作品は、実物大の部屋として再現。東北文化学園専門学校の学生も学外実習として参加する




インテリアデザインのセミナーやデザインワークショップを実施。学生にとってデザインの勉強だけではなく、さまざまな経験ができる機会だ

インテリア業界の発展やインテリアについてたくさんの人に関心を持ってもらおうと、宮城インテリアコーディネーター倶楽部はさまざまな活動をしています。新しいクリエイターの育成を目指し、インテリアデザインを学ぶ専門学校生と高校生を対象に、セミナーやイベントを開催。学生さんには、接客業の実習やインテリア産業に携わる人たちとの出会いなど、さまざまな経験ができる場としても活用していただいています。

このほかに、仙台市内の小学生を対象

宮城インテリアコーディネーター倶楽部
会員の親睦と情報交換およびスキルアップ、併せて地域でのインテリアコーディネーター活動のPRを目的に1990年に設立。インテリアコーディネーター資格取得者など、現在88名のインテリア産業関係者が参加している

所在地
仙台市青葉区本町2-7-13 遠藤建業ビル302
宮城インテリアコーディネーター倶楽部 事務局
TEL 080-1856-8538
E-mail mic@dune.ocn.ne.jp
http://miyagi-ic.com/




インテリア科では、在学中にインテリアコーディネーターの資格取得を目指している。また卒業すると、二級建築士の受験資格である実務経験が免除される



学習発表の場である卒業制作展。緑のある地域をより良くするために学生自らが設計する



東北文化学園大学教育支援センター「Eサポ」。専門学校のインテリア科の学生にも生きた教材となっている

力を入れている「学外実習」 現場で「大人としての耐力」を育成

本校が大切にしているのは、実践力を持ち社会に貢献できる人材を育成することです。学生の広い視野を育てるために力を入れているのが「学外実習」で、インテリア科では宮城インテリアコーディネーター倶楽部（以下mic）主催の「こんな部屋いいな」絵画コンテストに、学外実習の一環として関わらせていただいています。

作品のパネル展示や最優秀賞作品の実物模型製作では、学生がインテリア内装業者さんの厳しい指導のもと、壁紙を貼ったり、カーテンを掛けたりしています。「大人としての耐力」を育成するため、ビシビシ鍛えていただいています。作品展という晴れ舞台で実践力を身に付けることができると、学生たちにはとても好評です。

micの会員の中には、インテリア関連企業の支店長・営業所長などが多数いらっしゃるので、卒業後の就職につながるようなご縁

を得ています。micの会員企業のショールーム見学では、メーカーの考え方、新商品の情報などについて学ぶ機会をいただきました。

「生活を楽しむ「過ごす」には？その要素を分析する力を身に付けていく」
学生の卒業制作も、実践力を高める内容の濃いものになっています。インテリア科では「食育」に役立つ楽しい子ども用家具の設計や、貞山運河を活用したリゾート地の模型作りなどの卒業制作を通して、ものをつくる力が、私たちの暮らしをどう変えていくことができるのか、その可能性について学んでいます。

本校の教員はみな、実際にインテリア業界で活躍していて、住空間のデザインやカラーコーディネートなど実社会で通用するような知識

こんな人材を育てている



東北文化学園専門学校 インテリア科 科長

増田 学身 さん

を教えることができます。私もできる限り自分の仕事の現場を、学生に見せてあげたいと思っています。例えば、私がコーディネーターとして関わらせていただいた東北文化学園大学の教育支援センター「Eサポ」に学生を連れていき、デザインのコンセプトなどを伝えています。インテリア能力を伸ばす上で必要なのは、「生活を楽しむ「過ごす」という要素を分析すること。この部屋がなぜ心地良いかなど、因果関係を突き詰めていくことが、学生の応用力を育てることにつながると考えているからです。より社会で活躍できる人材を育成するため、今後は小学五年生頃から段階的に教えていく「キャリア教育」にも力を入れたいと思っています。

東北文化学園専門学校

1978年の開校以来、卒業生2万6000人余り。医療技術学科・総合福祉学科・医療ビジネス学科・建築デザイン学科の4学科8科という充実したカリキュラムで、即戦力となるスペシャリストを育成している

所在地
仙台市青葉区国見6-45-16
TEL 022-233-8173
FAX 022-233-8409
http://college.tbgu.ac.jp/

